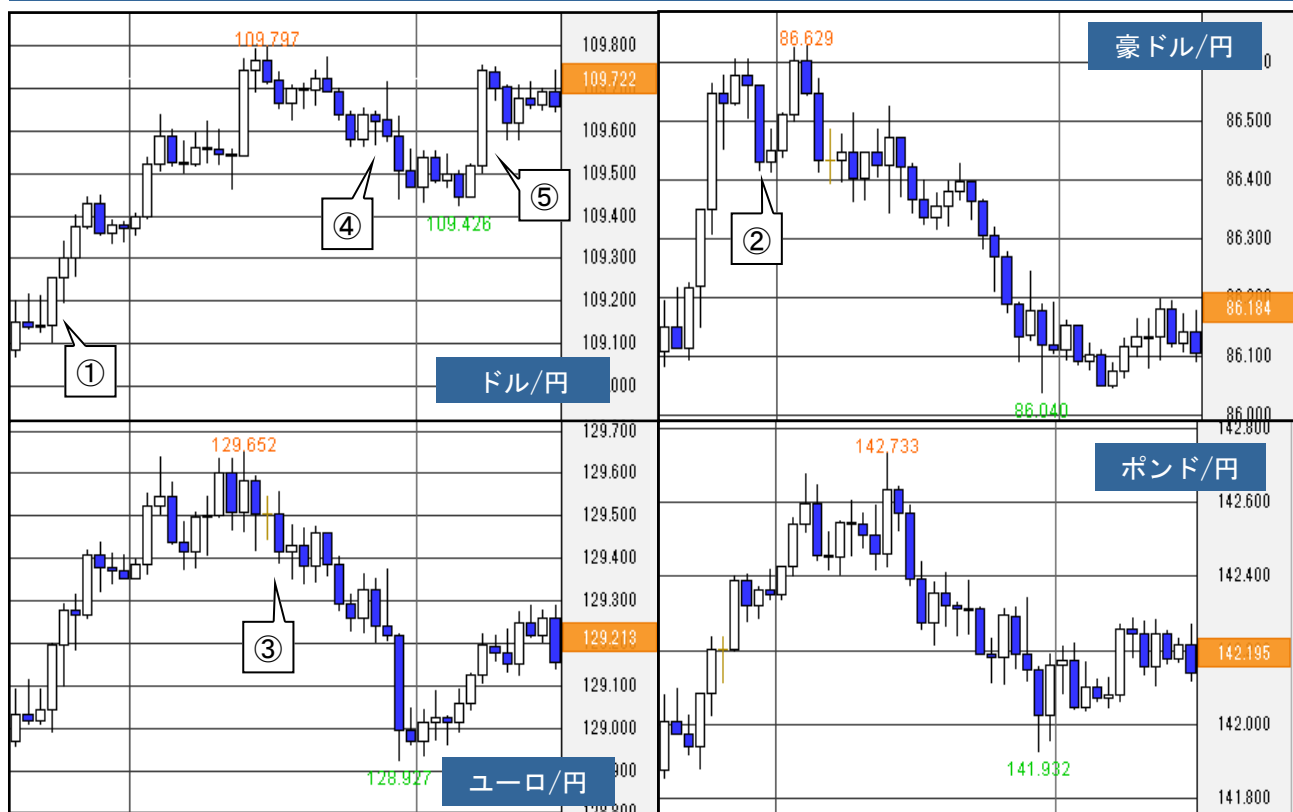


8月15日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

北朝鮮と米小売売上高に注目

14日(月)の為替相場



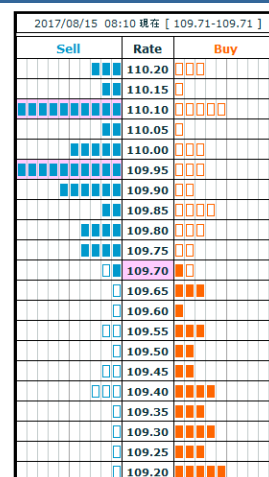
期間：14日(月)午前7時00分～15日(火)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 本邦4-6月期国内総生産(GDP)・一次速報値は前期比年率+4.0%と市場予想(+2.5%)を大幅に上回り6四半期連続のプラス成長となった。
- ② 中国7月鉱工業生産は前年比+6.4%、中国7月小売売上高は前年比+10.4%となり、いずれも市場予想(+7.1%、+10.8%)を下回った。これを受けて一時豪ドルが売られる場面があった。
- ③ ユーロ圏6月鉱工業生産は前月比-0.6%となり、市場予想(-0.5%)を下回ったが、ユーロ売りの反応は一時的であった。
- ④ ペンス米副大統領は「北朝鮮との対立を平和的に解消するために全てのアメリカの資源とトランプ大統領のエネルギーを注いでいる」などと発言。また、マティス国防長官とティラーソン国務長官は、連名で米紙に寄稿した文章で、北朝鮮が挑発をやめれば交渉する用意があるとの見解を示した。これらを受けて米朝間の軍事衝突への懸念が幾分やわらいだ。
- ⑤ ダドリーNY連銀総裁が「9月にバランスシート縮小という市場の見方は不合理ではない」「経済が予想通りに進展すれば年内にもう一度の利上げを支持する」などと発言した事が伝わるとドルが買われた。

14日(月)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19537.10 (▼192.64)	5730.407 (△37.267)	3237.360 (△28.818)	7353.89 (△43.93)	12165.12 (△151.06)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21993.71 (△135.39)	0.0580% (▼0.0050)	2.618% (△0.030%)	1.071% (△0.009)	0.406% (△0.024)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3182% (△0.0242)	2.2185% (△0.0297)	47.59 (▼1.23)	1290.40 (▼3.60)	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	109.100-110.500	128.500-130.200	85.600-86.700	141.400-143.200

【ドル/円】

昨日のドル/円は小幅に反発。ペンス副大統領ら米政府高官の発言などで米朝間の緊張が幾分緩んだためドル買い・円売りが優勢となり、109.80円付近まで上昇した。

ただし、本日15日は北朝鮮の祖国解放記念日にあたる。このため、アジア時間は同国によるミサイル実験などの挑発行為に一定の警戒感が残りそうだ。何事も起きなければ、ドル/円は欧米時間に110円台半ばまで戻してもおかしくないが、米7月小売売上高(21:30)の結果によるところも大きいだろう。米小売売上高はこれまで2ヵ月連続して前月比で減少しており、今回の結果に注目が集まっている。

執筆者：神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/15(火)	10:30	○	(豪) RBA議事録	—	—
	15:00	○	(独) 4-6月期GDP・速報(前期比)	+0.6%	+0.7%
	17:30	◎	(英) 7月消費者物価指数(前年比)	+2.6%	+2.7%
	17:30	○	(英) 7月小売物価指数(前年比)	+3.5%	+3.5%
	17:30	○	(英) 7月生産者物価指数(前年比)	+3.3%	+3.1%
	21:30	○	(米) 8月NY連銀製造業景況指数	9.80	10.00
	21:30	◎	(米) 7月小売売上高(前月比)	-0.2%	+0.3%
	21:30	◎	(米) 7月小売売上高(前月比:除自動車)	-0.2%	+0.3%
	21:30		(米) 7月輸入物価指数(前月比)	-0.2%	+0.1%
	23:00		(米) 8月NAHB住宅市場指数	64	64
	23:00		(米) 6月企業在庫(前月比)	+0.3%	+0.4%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。